

“第33回国際農業機械展 in 帯広” 開会式から閉会式まで



“第 33 回国際農業機械展 in 帯広” 開会式から閉会式まで



“第33回国際農業機械展 in 帯広” 開会式から閉会式まで



“第 33 回国際農業機械展 in 帯広” 開会式から閉会式まで



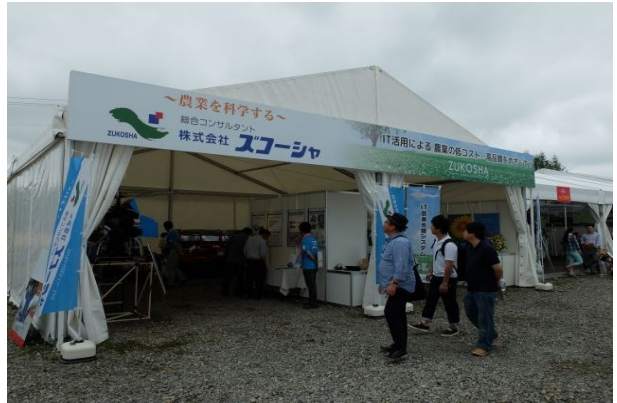
“第33回国際農業機械展 in 帯広” 開会式から閉会式まで



“第33回国際農業機械展 in 帯広” 開会式から閉会式まで



“第33回国際農業機械展 in 帯広” 開会式から閉会式まで



“第 33 回国際農業機械展 in 帯広” 開会式から閉会式まで



十勝毎日新聞 平成26年7月13日(日)



(1) 第28243号 2014年(平成26年)7月

次世代
農業へ
新たな挑戦

第33回
国際農業機械展 in 帯広
7.10(土)~14(日) 北愛国交流広場

おいしい十勝 長蛇の列 農機展来場者 3日間13万人

「第33回国際農業機械展 in 帯広」(14日まで、会場・帯広市北愛国交流広場)は13日、期間中唯一の日曜日とあつて家族連れや

全国の農業関係者らが詰め掛け、農機だけでなく食のイベントも楽しんだ。主催者によると、開幕から12日までの3日間で来場者数は13万人に達した。

4日目のこの日、同時開催の「とちち食彩祭」会場では午前11時半から、蒸した十勝の野菜を盛り合わせた「大地のプレート」が200食限定で販売され、長蛇の列ができた。

地域の食を大切にする活動に取り組む「スローフードフレンズ北海道」の提供。ジャガイモや大根、ニンジン、トウモロコシ、ブロッコリー、ゴボウなどが色とりどりに盛り付けられ、来場者は見た目も味も十勝の食を満喫した。

芽室町から訪れた高倉龍一君(14)は「芽室中2年」は「野菜本来の味が楽しめておいしい。農機展も見たことのない機械がたくさんあつて楽しい」と笑顔。根

室管内別海町の酪農法人従業員・田中大裕さん(22)も「にぎわつていて、すごい。普段、野菜はあまり食べないがこれはおいしい」と話していた。

最終日の14日は午前9時から午後3時まで開場する。(編尾敦)

(1) 第28244号 2014年(平成26年)7月14日(月曜日)

最終日も大勢の来場者でにぎわった国際農機展
(14日午前10時半ごろ、折原徹也撮影)



**次世代
農業へ
新たな挑戦**
第33回
国際農業機械展in帯広
7.10(土)→14(月) 北愛国交流広場

**最終日も人、人
来場20万人突破へ**

「第33回国際農業機械展 in 帯広」(帯広市北愛国交流広場)は14日、最終日も大勢の人でにぎわい、5日間にわたった8年ぶりの

農機の「祭典」は幕を閉じた。

主催者によると来場者は13日までで18万7000人に達し、5日間計で20万人を突破することが確実となった。

最終日も農業関係者の団体視察が多く、平日でもたくさんの人が訪れ、最新技術を学んでいた。

JAめむろ青年部で視察に訪れた畑作農家の高橋伸

幸さん(29)は「先日家族で訪れたのに続いて、今日は2回目。子供も喜ぶので家族でも楽しめ、農家としても勉強になる」と話していた。

来場者数は14日分はまだまとまっていないが、13日はこれまでで最高の5万7000人が来場した。最終日は前日までより1時間早い午後3時に閉場し、関係者による閉会式が行われた。(眞尾敦)